

第18分科会 選抜制度と進路保障

3年間を見通したキャリア教育の実践について

1 設定理由

社会の変化が急激に進む中、職業のあり方が変わりつつある。そのような社会全体の課題に対応していくためには、子どもたちが適切な勤労観、職業観を身につけていく必要がある。

学校においては、キャリア教育を通して、社会全体に貢献していけるような子どもたちを育成する必要がある。そのためには自己表現力を育成し、周囲との人間関係を円滑に構築する力を身につけさせることが最優先であると考えます。

中学校3年間の中で、勤労観・職業観について育ませるとともに、自己表現力を育成することで、より多くの子どもに将来を展望できる力を培いたいと考えて、本主題を設定した。

2 研究仮説

(1)【自己の生き方を、直接考える】

「働くことの意義・職業学習会を通して」(1年)、「産業マネジメント・職場体験を通して」(2年)、「将来の自分・これからの生き方を考える進路選択を通して」(3年)の活動を通して、勤労観・職業観を育むことができれば、自分の進路選択に役立てることができるであろう。

(2)【個人と身のまわりの諸問題との関わりを考える】

3年間の総合学習を通して仲間について、考えさせることができれば、人間関係の構築を円滑にすることができるであろう。

(3) 地域の人々や、さまざまな立場の大人との交流すれば、学校では学ぶことができない社会の一員としての規律やマナーを学ぶことができるであろう。

3 研究内容

(1) 1学年：職業学習会（シンポジウム形式）

(2) 2学年：職場体験（グループプレゼンテーションで発表）

(3) 3学年：進路学習（「自分の行き方」について個人プレゼンテーション）

4 結論

(1) 3年間の総合学習を通して、自分の今後を考え、進路選択に活かすことができた。

(2) 集団生活のなかでよりよく生活していく方法を考えることができた。

(3) 規律やマナーなどを、学校生活に生かすことができていないこともあった。

3年間を見通したキャリア教育の実践について

1 設定理由

社会の変化が急激に進む中、職業のあり方が変わりつつある。若者の完全失業率や非正規雇用の率が高まる社会において、若者たちが夢や希望を失っている傾向がある。そのような社会全体の課題に対応していくためには、子どもたちが適切な勤労観、職業観を身につけていく必要がある。

学校においては、キャリア教育を通して、社会全体に貢献していけるような子どもたちを育成する必要がある。社会の中で周囲と協調性をもち、よりよい人間関係を構築していくことは、厳しい社会を生き抜いていく上で非常に大切な考え方である。そのためには自己表現力を育成し、周囲との人間関係を円滑に構築する力を身につけさせることが最優先であると考えられる。

中学校3年間の中で、勤労観・職業観について育ませるとともに、自己表現力を育成することで、より多くの子どもに将来を展望できる力を培いたいと考えて、本主題を設定した。

2 研究仮説

(1) 【自己の生き方を、直接考える】

「働くことの意義・職業学習会を通して」(1年)、「産業マネジメント・職場体験を通して」(2年)、「将来の自分・これからの生き方を考える進路選択を通して」(3年)の活動を通して、勤労観・職業観を育むことができれば、自分の進路選択に役立てることができるであろう。

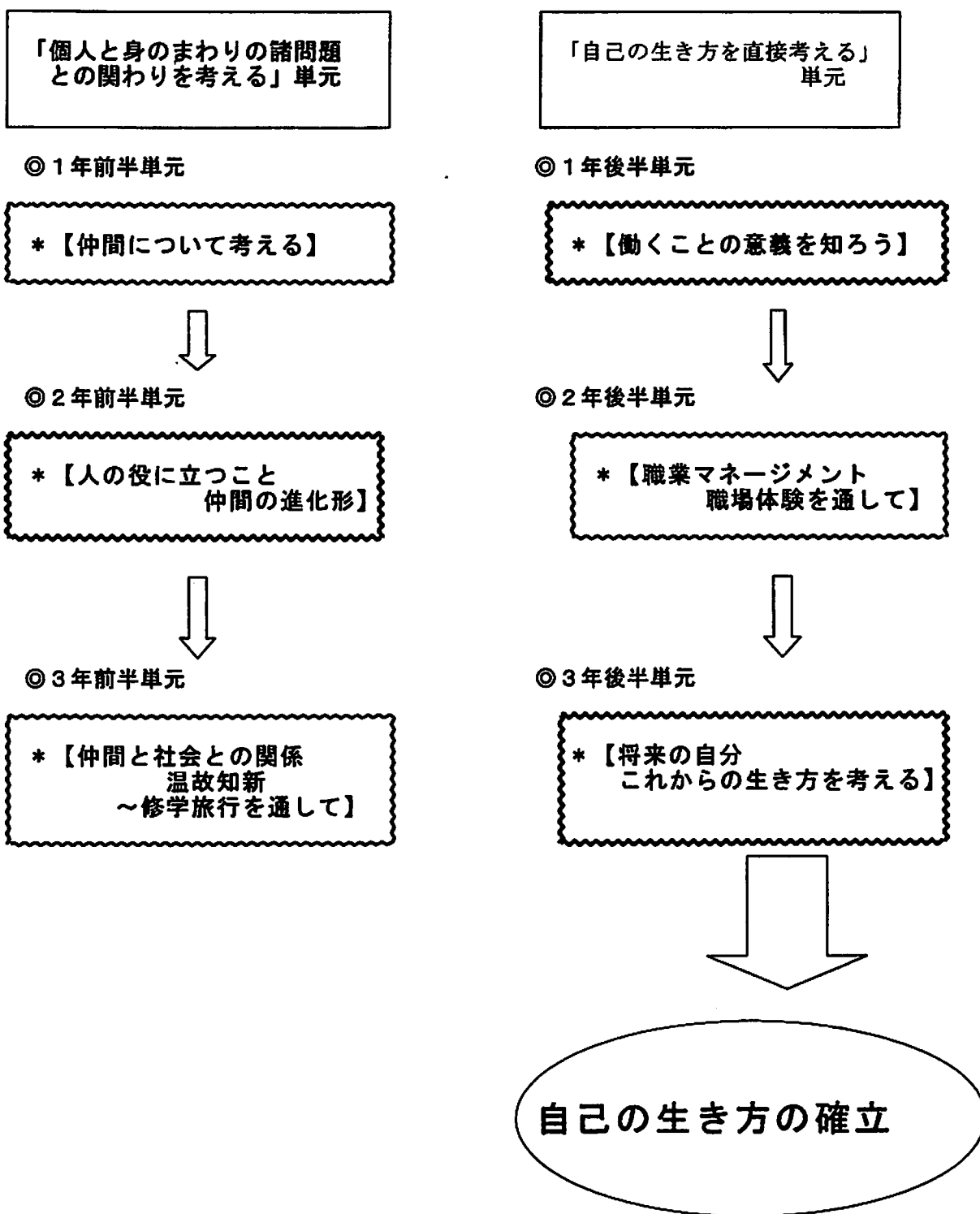
(2) 【個人と身のまわりの諸問題との関わりを考える】

「仲間について考える・仲間とはなんだろう」～校外学習を通して～(1年)、「人の役に立つこと・仲間の進化形」～グリーンスクールを通して～(2年)、「仲間の最終形・仲間とのよりよい関係とは何か」～修学旅行を通して～の活動を通して仲間について、考えさせることができれば、人間関係の構築を円滑にすることができるであろう。

(3) 地域の人々や、さまざまな立場の大人との交流すれば、学校では学ぶことができない社会の一員としての規律やマナーを学ぶことができるであろう。

3 研究内容

総合的な学習の時間の流れ



1 学年の実践 総合的な学習の時間

職業学習会（9月～2月）

1 目的

社会で働いている方の仕事内容や生き方等具体的な話を聞くことにより、生徒自身の職業観の育成を図るとともに働くことの意義や自分の生き方について考えさせる機会とする。

2 内容 シンポジウム形式で実施

○シンポジウム

【話していただく内容】

- ① 仕事の内容
- ② その職業に就くための資格
- ③ 職業選択の時期と動機
- ④ 仕事の喜びや苦勞
- ⑤ 働くことの意義

3 事前・事後の指導計画（マル数字は総合の時間）

- ・ 保護者に向けての依頼文発送 → 9月
 - ① 職業学習会にむけての事前学習 → 11月
 - ② 講師決定（学年会） → 10月中旬
 - ③ 職業学習会希望アンケート → 12月初旬
 - ④ グループ内チーム分け、チーム計画の作成 → 11月
 - ⑤ 職業調査 → 12月
 - ⑥ 職業学習会の質問内容検討 → 12月
 - ⑦ 本番に向けてのシナリオ作成 → 1月
 - ⑧ 本番に向けてのシナリオ作成 → 1月
 - ⑨ リハーサル → 2月
 - ⑩ 職業学習会 → 2月
 - ⑪ 職業学習会のまとめ（アンケート、作文、お礼の手紙） → 2月
- ※ 以後、「働くことの意義」についてのまとめ、プレゼンテーション、へと学習を進めていく。

4 予定（詳細）

| 日時 | 形態 | 内容 | 注意 など |
|-----------|-----|---|---------------------------------|
| 9月中 まで | 職員で | 職業学習会に来てもらう人（職種）の決定 8人～10人程度を予定。2つの職業で1つの教室を使い、4～5つの業種別チームにする。 | なるべく業種がばらけるように |
| 10月 | クラス | ・ これからの学習の説明 ・ 自立した人間の条件（シートを用意）について考える→それについて自分の考えを書く | 何のために働くかの理由を考えさせる。 働く理由について考 |

| | | | |
|-----|-----|--|--|
| 11月 | | <ul style="list-style-type: none"> ・第1回の自分の考えの発表 ・中学校と進路の説明 ・職業についてのプリント完成 (職業と産業の違い・さまざまな職業の違い・自分の希望) ・プリントについての発表 | え、意見交換し、意見を共有する。 職業の種類を知る。 |
| 12 | クラス | ・アンケート（職種の選択）→業種別グループ分けの為 | |
| | クラス | ・業種別グループの決定→クラスで発表 | |
| | 業種 | <ul style="list-style-type: none"> ・業種別グループの顔合わせ。→更に2つのチームに分ける ・職業調べ①→職業学習会調査計画表の作成 その後、業種ごとに、仕事内容や勤務時間、収入、休日、適性、資格や免許、などを予想・事前調査する | 資料は教員側で用意する。 |
| 1月 | 業種 | <ul style="list-style-type: none"> ・職業調べ② 事前調査を参考に。。 ・質問内容を考える→決定 (質問内容を相手にFAX) ・質問の予想される回答の作成① | 何のために働くのか、といういことを根幹に質問を考える。 |
| | 業種 | <ul style="list-style-type: none"> ・質問の予想される回答の作成② ・学習会の役割の決定 | 必ず一人一役 |
| 2月 | 業種 | 役割の確認とリハーサル | 会の流れ確認 |
| | 業種 | <ul style="list-style-type: none"> ・職業学習会 8人の講師を招き、15人程度の人数のグループで学習 ・宿題（まとめをしておく→次の時間に発表） | |
| | 業種 | <ul style="list-style-type: none"> ・反省 まとめ (右のことをまとめ、一人ずつ発表する) ・職場体験へのつながり (次は職業の場に行き実際に、見て、体験し、その職業の未来を考える学習とする) ・お礼状の作成 | 何のために働くのか、「自分で考えていたこと」と「実際に聞いてわかったこと」を比較させる。 |
| | 学年 | 集会で各業種の代表が発表。 | |

→→職場体験に向けて（2年の10月頃実施）

自分の体験した職業の問題点や課題、これからについて考える。

（自分が10年後にこの職業に就いたときにどのように工夫すると、もっとこの職が向上するのか）

2学年の実践 総合的な学習の時間

【職場体験学習の目的】

- (1) 働くことのすばらしさを知り、何のために働くのかという職業観を身につける。
- (2) 学校では学ぶことのできない社会の規律や、マナーの大切さを実感する
(あいさつ、人の話が聞ける、時間を守れる)
- (3) 自分の良さに気づき、自己実現を目指し何事にも主体的にとりくもうとする姿勢を養う。
- (4) 学校、家庭、地域が手をつなぎ子どもを育てることができる連携のあり方を探る。

【総合的な学習の時間での位置づけ】

①単元名 【産業management】

②テーマ 「未来の産業を創造し、地域へ提案しよう。」

③単元の目標

地域¹の職業を調べたり、職場体験をする中で、職場で働いている人々の苦勞や喜びなど²の働いている人達の考えについての理解を深める。また、地域の職場が直面している課題³を知ることによって、現代社会の激しい変容に目を向け、社会構造（社会のしくみ）⁴を自らの手で探求し、将来に向けての意思とそれを実現していく力を育てる。

※ この単元の「テーマとゴールの設定」の情報収集のための体験活動として、この職場体験学習を位置づける。

⑤ 本単元で「身につけたい力」

| | |
|---------------|--|
| ○課題設定の能力 | 疑問点や問題点を発見し、自らのテーマを設定できる。 |
| ○問題解決の能力 | リサーチの方法を工夫し、リサーチしたことを、まとめたり分析したしてポートフォリオを作成し、それを蓄積できる。 |
| ○プレゼンテーションの能力 | 自分の考えを生かしながら仲間と協力して制作活動を行い、チームのえをきちんと他へ伝えることができる。 |
| ○自己の成長を見つける力 | 学びあいの中で、自分自身の成長を見つけることができる。 |

(1) 体験学習の内容

生徒の希望をもとに体験先を決め、グループに分かれて各事業所で実際に作業等を行う。

①講話（職業観、企業の求める人材、社会人としての心構え、職場が直面している課題など）

②職場の見学と説明、実際の作業の内容等の確認

※上記の①、②は、午後など半日を利用し、生徒たちが事業所を訪れて、最終的なお願いや打合せ等とともにを行う。

③実際の作業実習など

(2) 実施する事業所の選定

- ①夏休み中から申し込んで、承諾して頂いた事業所の中から横芝中の実施期間に受け入れ可能な事業所の一覧表を作成する。
- ②生徒に産業ごとに「今、職場が直面している課題」について考えさせ、テーマとゴールの設定についての意識づけをする。
- ③②の課題について、より詳しく情報収集してみたい産業名の希望調査を行う。
- ④希望調査の集計、調整を行い、各自が情報収集する産業を決める。
- ⑤情報収集する産業ごとに分かれ、その中で希望を取りながら、話し合いによって、実際の体験先を決定する。

(3) 事前学習

次の①、②のことを予想させたり、本や資料で調べさせたりする。

①職場体験学習を通じて、生徒に確認させたい内容

- ・人は何のために働くのか ・働くことの喜びや苦勞
- ・社会人としての責任
- ・自分自身の進路をどのような考えで選択していくか。

※これらは1年生の時に実施した職業学習会で学習し、プレゼンテーションとしてまとめてあるので今回の職場体験学習を通して、それらの再確認を行う。

②職場体験学習などを通じて、情報収集したい内容

- ・各産業が直面している課題

(4) 事後指導

職場体験学習を通して感じた課題をもとに、各産業の今後についてまとめ、それを地域社会に発信する。

①職場体験レポートの作成

※(3)の内容について、体験を通して感じたことをまとめさせたい。

②学年だよりでの報告

③事後アンケート

④総合的な学習の時間の後半単元【産業 management】へつなげていく。

- ・テーマとゴールの設定 ・計画 ・情報収集 ・制作
- ・プレゼンテーション ・凝縮ポートフォリオ ・成長エントリー

実施計画（概略）

| 月 | 教 職 員 の 活 動 | 生 徒 の 活 動 |
|---|--|------------------------------|
| 7 | * 事業所連絡 | |
| 8 | * 職場体験学習の原案作成 * 受け入れ先事業所の決定 * 受け入れ先事業所の一覧表作成及び 教師役割分担決定 | |
| 9 | * 体験チームの希望調査 * 体験チームの割り振り、決定 | ・ ガイダンス ・ テーマについての意識調査の実施 |

| | | |
|----|--|---|
| | * 事前学習、事前指導 * 体験先との打合せ | ・ 体験チームのための希望調査、決定 ・ 職場体験学習への準備 |
| 10 | * 事前学習、事前指導 ・ 職場体験学習事前打合せ事前指導 ・ 職場体験学習事前指導 | ・ 職場体験学習への準備 ・ 職場体験学習事前打合せ ・ 職場体験学習事前打合せの反省 ・ 調査活動のまとめと最終確認 |
| 11 | 職 場 体 験 学 習 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け入れ事業所を訪問 ・ 実習状況の把握と記録 ・ 事業所アンケートの配布 ・ 写真等の記録 * 事後指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの実施と集約 ・ 事業所への礼状発送 など | <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒アンケートの記入 ・ まとめと礼状の作成 など |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴール（小テーマ）の設定 ・ ゴールにむけての情報収集 ・ プレゼンテーション準備 ・ プレゼンテーション | <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションチームの決定 ・ プレゼンテーション計画立案 ・ プレゼンテーションリハーサル ・ 個人のまとめの作成 |

過去の成果と課題

【成果】

- ・ 意欲的にとりくめた生徒が多く、普段の授業では見られない姿を見ることができた。
- ・ あいさつや礼儀について学ぶことができた。
- ・ 主体的にとりくみ、やるべきことを考え、探す態度を養うことができた。
- ・ 働くことの意義やその苦勞を学ぶことができた。
- ・ 一人ひとりが課題をもって体験をすることができた。
- ・ 各産業についての誤解や偏見が少なくなり、正しい職業観を学び取ることができた。
- ・ 普段では気がつかない自分の良さに気がつくことができた。
- ・ チームの中での協力体制や連携することの大切さを理解することができた。

【課題】

- ・ 事業所の産業分野が少ないため、生徒の希望と合致しない部分が出てくる。
- ・ 実施のお願いをした際に、夏休みに実施することはできないのかという問い合わせが複数あった。
- ・ 体験期間を2日間にしたことで、実施できない事業所が数か所あった。しかし、学年としては3日間はちょうどよいと考える。
- ・ 他校の職場体験とぶつかってしまった事業所が数カ所あり、他校との調整・連絡の必要性があった。

3学年の実践 総合的な学習の時間

・前年度1月～7月までの総合学習の流れ

○プレゼンテーションについて（修学旅行）

方法…個人プレゼン、グループプレゼン

目標…各自の心境の変化や学んだことでの今後の展望を伝えること。

1年：本当の仲間

2年：仲間と協力すること

3年：自分と仲間と社会との関わり

1年生～卒業までの「仲間について」「心境の変化について」「今後の自分の展望について」考える機会の設定。

・9月～3月までの総合学習の流れ

「生き方」について考える学習

～仲間についての学習と自分の将来を考える学習～

職業学習会「働くことの意義」（1年）、職場体験「産業マネジメント」（2年）の活用

9月～近い将来の夢

どんな上級学校に進学するのかなどを考える具体的な「進路学習」

「自分の生き方を考え、進むべき方向を見つけていく」

11月～自分の力を確認（自分の力を生かしてこれからこんなことがしたい）

高校入学後、就職後の生き方

※方法

「紙に書く」と「人に話す」

「志願理由書」と「面接」の練習へつなげる。

12月～高校入試や入社試験を具体的に志願するための資料作り

（志願理由書を消書、入学願書の作成）

1月～実際の入試や入社試験

2月～中学校最後のプレゼン

テーマ：「私が今まで学んできたことと、これからの生き方」

自分が身につけてきたこと、この先自分が学んだことを生かして、どんな生き方をしていきたいのか、ということ語る。

3月…思いを伝えて卒業

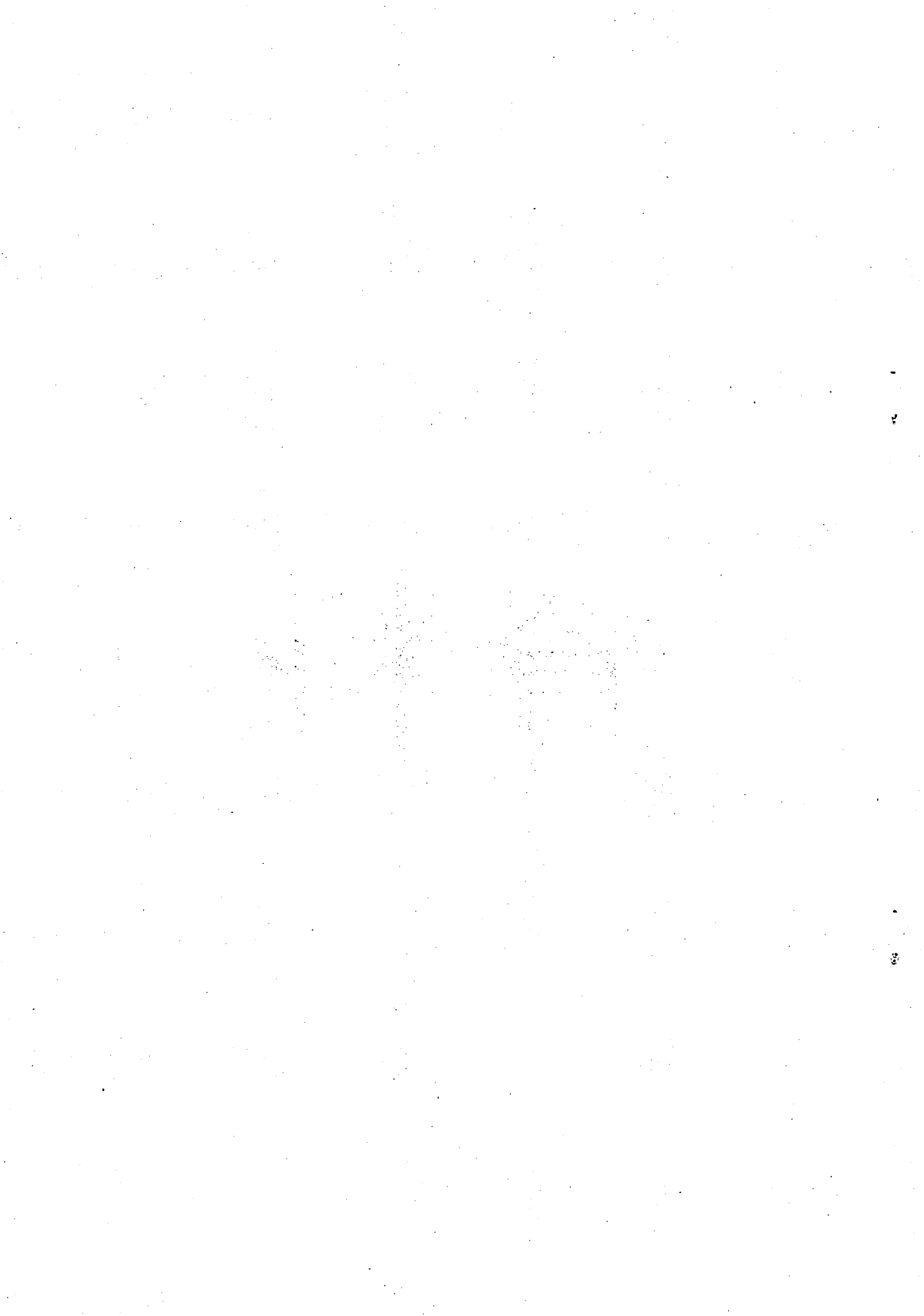
4 成果と課題

3年間の総合学習を通して、勤労観・職業観を学ぶだけでなく、今後の横芝光町の産業の課題について考え、その解決策を考えることができた。そしてそこで学んだ課題解決の方法を通して、自分の今後を考え、進路選択に活かすことができた。また、仲間について学ぶ中で、人間関係の構築の仕方や、集団生活のなかでよりよく生活していく方法を考えることができた。プレゼンテーションに関しても、生徒が原稿を暗記して、自分の意見を述べるだけでなく、黒板やフリップ、パワーポイントなどを駆使し、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを考えて、実践することができた。中学校最後のプレゼンでは、仲間の大切さについて述べるとともに、将来の自分の生き方についてもしっかりと語ることができている。

また、学校評価アンケートの「思いやりの気持ちをもって友だちに接している」の項目において、前期調査（2016年7月実施）から、後期調査（2016年12月実施）では、80%から82%にわずかだが上がっている。今年度の学校評価アンケート（7月実施）では、「自分の進路について真剣に考えようとしている」の項目では、1年生が80%に対して、3年生が88%となり、継続的な総合学習での指導により意識を高めることができた。

しかし、事業所からのアンケートで、中学生のあいさつや返事、態度などに関して、「非常によい・まあまあよい」の割合が9割を超えていたが、学校評価アンケートの「あいさつはよくする」の項目において、前期調査（7月実施）から、後期調査では、82%から80%に下がってしまっていた。実際の学校生活で自分たちの生活に活かすことができていないことも多い。よって今後学習を進めていく中で、実践方法を改善していく必要がある。

資料



自立した人間とは

9月 日() 時間目
1年 組 番
名前()

【人は何のために働くのか】

今日から、私たち人間が「働く」ということ、つまりは「仕事を持つ」「職業について生きる」ということの意味を考えてみたいと思います。

皆さんの家族は仕事を持っていますか？会社員でしょうか、それとも何かの商売をしているでしょうか。あるいは学校の先生、お医者さん、弁護士、大工さん、物書きなどを仕事としている人がいるかもしれません。

いずれにせよ、働いて生活費を稼ぎ出さなければ生きていけません。何かの仕事をして働かなければ、皆さんを養い、今日の日まで育て上げることはできなかつたでしょう。

ところで、なぜ人間は働いているのでしょうか。

上に書いたとおり、まず何よりも、自分や自分の家族が満足に食べて、服を着て生活していかなければなりません。これが基本です。しかも衣・食・住のほかにも、税金や社会保険、子どもの教育費や教養・娯楽・交際費、車や家のローンなど、毎月生活をしていくためには様々な費用が必要です。皆さんの家族は、この生活費を稼ぐために、歯を食いしばって働いていらっしゃることは、言わなくてもわかるでしょう。

しかし「働く」のは、必要なものを買う、そのためだけでしょうか。

私は決してそうではないと思うのです。

もし「食べていくためだけ」「生活を維持していくだけ」なら、仕事はただ「つらい」だけのものになってしまいます。その仕事をしている、1日のうちのかなり長い時間は、ただ苦痛にしか感じられなくなるでしょう。それでは仕事に耐えられないし、長続きするはずがありません。

最近、朝通勤電車に乗り、勤め先の駅にたどり着くとめまいがしたり、吐き気がしてしまう会社員が増えているそうです。おそらくそんな人は、仕事の時間の充実もそして息抜きもなく、仕事が苦役（つらく苦しいだけの労働）となり、そのつらさや重圧に押しつぶされそうになっているのだと思います。

人間にとって「働く」とはいったいどんな意味を持っているのでしょうか。

自分の生活を維持するため、というのはもちろんです。

しかしそれ以上に「自分の仕事が社会の役に立っている」こと。つまり、自分が他の誰かのためになっているということが大切なのです。

さらに、それが自分の生き甲斐と重なっていれば、より望ましいのだと思います。

私は「働く」ことは、充実して毎日を過ごしていくための必要な条件だと思います。

また自立した自由な人間として、限られた人生を自らの意志を持って生きていくための土台ともいえるでしょう。

ついこの前、テレビで学生にインタビューをしている番組を見ました。

質問は「将来のあなたの夢は？」というもので、突き出されたマイクにはいろいろな答えが語られました。

ある男の人「給料のいい企業に就職して、安定した生活をしたい」

ある女の人「自立できる職業に就きたい。なんでもいいから社長がいいな」

ある男の人「若いうちは遊びたいから、仕事は何でもいいから早く帰れる仕事がいい」

ある女の人「とりえず給料のいい会社に就職して、当面は遊んで、30位までに結婚。

相手はお金があればとりえずいいかな」

私はテレビを見ながら、ちょっとむかっときていました。勝手なことを言って、いい気なもんだな、と。

でも、次の瞬間にはこの学生たちが、かわいそうになりました。

彼らの多くは、気の毒なことに「人間が生きる」ということの意味やすばらしさ、自分が誰かの役に立ってうれしいという気持ち、そういうものに気づかずに、または考えようとしないままに年を取ってしまったのでしょう。

人は次の4つのことで幸せを得るといいます。

- | | |
|-------------|---------------|
| ① 人に愛されること。 | ② 人に褒められること。 |
| ③ 人の役に立つこと。 | ④ 人に必要とされること。 |

実は、このうち①の「人に愛されること」以外の3つは、仕事を通して得ることができるのです。

しかし、1日のほとんどの時間を占める仕事の時間が、ただつらさや苦勞だけを感じる時間ならどうでしょう？

幸せな気持ちは、どこで得ることができるのでしょうか。

英語で仕事を表現する言葉には、labor と work があります。

labor = (つらい) 労働

work = (ある目的のために意識的に何かを人がする) 仕事

あなたは、labor と work どちらがいいですか？

人間には、誰もがたった1度だけ生きるチャンスを平等に与えられています。

その1度のチャンスをどう生きるのか。自分の生きた証をどう実感するのか。

それを感じることができて、初めて「生きている」と言えるのではないのでしょうか。

これから将来を考える上で、目先のことだけではなく、「どう生きるか」という観点でいろいろな学習をしていきましょう。

| | | |
|----------|---------|-----|
| 自立した人間とは | 9月 日() | 時間目 |
| | 1年 組 番 | |
| | 名前() | |

★資料を読んで感じたこと、考えたことを書きましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



| | | |
|--------|-----------|------|
| 職業について | 10月16日(金) | 6時間目 |
| | 1年 組 番 | |
| | 名前() | |

1 職業と産業の違いについて考えてみます。その区別を間違っしてしまいがちなので覚えておきましょう。産業とは会社や工場などの「事業所」が行う仕事の内容のことです。職業とは「個人」が行う仕事の内容のことです。

| | |
|-----|------------------------------|
| 産業界 | 職業名 |
| 病院 | 医者 看護師 医療事務 レントゲン技師 医療会計 薬剤師 |
| 百貨店 | 販売員 仕入れ人(バイヤー) 清掃人(スーパー) |
| 鉄道業 | 電車運転士 電車車掌 駅務員 鉄道運転計画 運行管理員 |

日本標準職業分類を資料に見ながら、日本にはどのような職業があるのかを見てみましょう。

2 さまざまな職業
つぎに職業の違いについて考えてみます。私たちの身の回りには、大勢の人々が様々な職業に就いて働いています。また仕事の内容も異なります。働く場所、時間、服装、年齢、資格、免許、専門性などその観点によって仕事の内容はさまざまです。

下のそれぞれの観点にあう職業を探して、できるだけたくさん書いてみましょう。

| | | |
|------------|----------------|-------------|
| 若い世代に適した職業 | 年を取ってからでもできる職業 | 資格や免許が必要な職業 |
| 男性に関係の深い職業 | さまざまな職業 | 女性に関係の深い職業 |
| 働く時間が特殊な職業 | | 人を相手にする職業 |

3 自分の希望する職業について、仕事の内容を考えてみましょう。

| 希望する職業 | 仕事内容(場所 働く時間 資格・免許 仕事相手 専門性 年齢など) |
|--------|-----------------------------------|
| | |


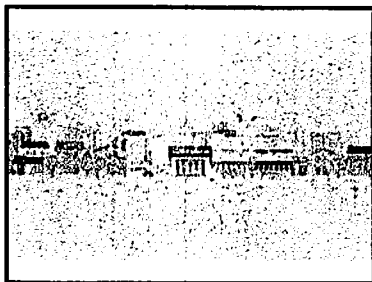
待機児童を減らすために



メンバー

待機児童とは…？

保育所への入所資格があるにもかかわらず、保育所が不足していたり定員一杯であるために入所できずに入所を待っている児童のこと。

そして思いついたのは…

**横芝光町で
待機児童を迎え入れる！**

今、横芝光町にある保育園は100人近く入れる保育園が多い。

↓

横芝光町にある保育園の多くは定員を満たしていない。

↓

このことから…
待機児童を迎えることができる！！

このことを広めるために…

**ネットやチラシで
PRする！**

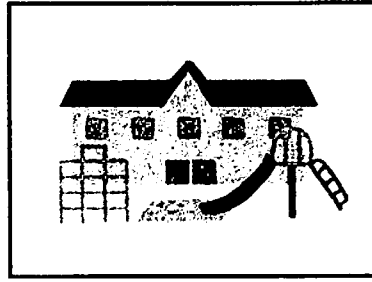
PRの方法①

- ・横芝光町のホームページに載せる。
- ・twitter,instagramなどのSNSに投稿する。



PRの方法②

- ・他の市町村にチラシを張ったり、配ったりする

横芝光町は住みやすいか



いいえ

はい・・・58人
いいえ・・・24人


まとめ

保育園の定員に余裕のある横
芝光町をネットやチラシでPR
し、待機児童を迎え入れる

**ご清聴
ありがとうございました**

少ない資金で充実した
安心した暮らしができる
町づくり

片岡町長の
町づくりを
考える会



人口減少=資金減少
資金が減っていく中で
充実・安心な暮らしができる
のが大切!

人口増加・資金増加につながる!

現在 概要

桂葉の森に老人ホームを建てる計画が進んでいる

↓

併設し学童保育施設を建てる!

現在の公営サービス費
の問題点

↓

人口減少



そこで

町内改革
3つの柱
を考える



そうすることでのmerit

老人

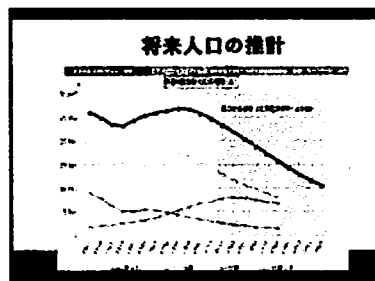
- ・老化防止
- ・子供とのふれ合い

子供

- ・昔の遊びができる
- ・自然と慣れ親しむことで心の豊かな子供が育つ

↓

世代を越えた交流!



3つの柱 1つ目!

桂葉の森・老人ホーム

~老人ホームと学童施設の融合~

3つの柱 2つ目!

東京五輪
練習地補助

~スポーツ選手との交流~

横芝光町にはスポーツ施設が多い
↓
他国の練習地として動員してみないか？

3つの柱 3つ目！
道の駅 坂田池
～移動販売サービスの定着と
利用客のニーズに合わせて
進化する店～

まとめ
私達は少ない資金で充実し、安心した
暮らしができる町づくりのために
①雑業の森老人ホーム
②東京五輪練習地特選 **も定着する！**
③道の駅 坂田池

概要
2017～2020にかけて、半年～1年に
1回 他国の選手に合宿に来てもらう。
↓
子供達とスポーツを通して交流してもらう。

概要
現在 坂田池公園の近所に道の駅
を建設する計画がある
↓
大船など高齢化が進む地域を
中心に移動販売サービスをしたらどうか？

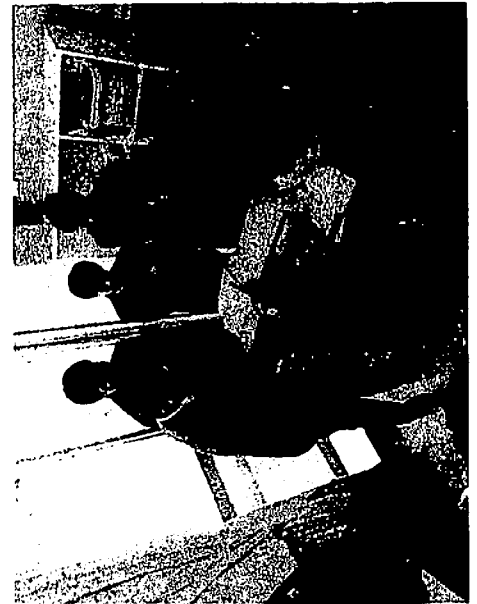
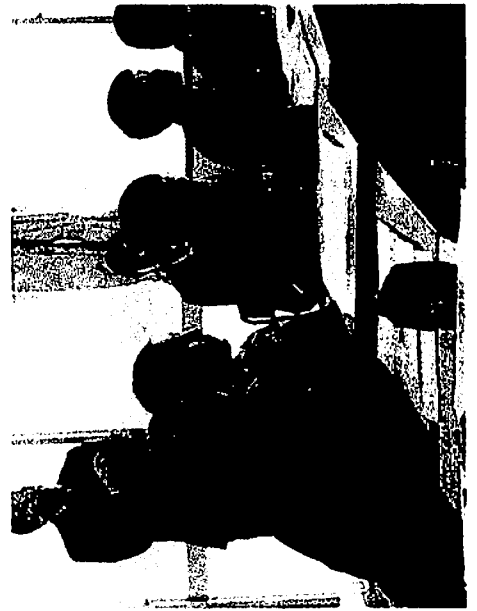
最後に、、、
自分自身を大切にすること
↓
他人を大切にすること
命を大切にすること
↓
人口増加につながる
皆で一緒に未来をかんがえていこう！

そうすることでのmerit
未来のスポーツ選手育成
すると共に国際交流をはかる。
↓
その国との友好な関係を築く
(国際交流！)

そうすることでのmerit
普段買い物に行けない人達
⇒ 買い物をする事で額書が増加
⇒ 大型スーパーから遠い人
気軽に買い物できる

Thankyoufor
listening


職業学習会



産業マネジメントプレゼンテーション

